【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公開番号】特開2007-324638(P2007-324638A)
【公開日】平成19年12月13日(2007.12.13)
【年通号数】公開・登録公報2007-048
【出願番号】特願2006-149118(P2006-149118)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｑ　1/52　(2006.01)
Ｇ０６Ｋ　19/077　(2006.01)
Ｇ０６Ｋ　19/07　(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　7/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　21/30　(2006.01)
Ｈ０１Ｑ　9/16　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｑ　1/52
Ｇ０６Ｋ　19/00　Ｋ
Ｇ０６Ｋ　19/00　Ｈ
Ｈ０１Ｑ　7/00
Ｈ０１Ｑ　21/30
Ｈ０１Ｑ　9/16

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月24日(2008.12.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも２個のＩＣチップを搭載したＩＣタグであって、
第１のアンテナ、および、当該第１のアンテナに接続された第１のＩＣチップを有する第１のインレットと、
前記第１のアンテナに対して所定の角度をもって配置され、自身の一端が当該第１のアンテナと絶縁体を介して静電結合している第２のアンテナ、および、当該第２のアンテナに接続された第２のＩＣチップを有する第２のインレットと、
を備えることを特徴とするＩＣタグ。
【請求項２】
前記所定の角度は、直角であることを特徴とする請求項１に記載のＩＣタグ。
【請求項３】
前記第２のアンテナは、自己と前記第２のＩＣチップとの間のインピーダンスマッチングを行うための整合回路を有していることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項４】
前記整合回路は、前記第２のアンテナ上において、前記第２のＩＣチップの端子間に形成されたスリットであることを特徴とする請求項３に記載のＩＣタグ。
【請求項５】
前記第２のアンテナの動作波長をλとしたとき、当該第２のアンテナの長さは０．２λ

以下であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項６】
前記絶縁体は、樹脂、当該樹脂の発泡体、または紙のいずれかであることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項７】
前記絶縁体は、前記第１のインレットと前記第２のインレットとを接着する粘着材または接着材であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項８】
前記絶縁体は、樹脂、樹脂の発泡体、または紙のいずれかと粘着材または接着材との積層構造となっていることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項９】
前記絶縁体の厚さは０．０１ｍｍ以上であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項１０】
前記第１のインレットはＩＣタグを構成する樹脂性の外装材料に収納され、前記第２のインレットは前記外装材料の表面または裏面に貼付されていることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【請求項１１】
前記外装材料は、ポリエチレンテレフタレート（ＰＥＴ）、グリコール変性共重合ＰＥＴ樹脂（ＰＥＴ－Ｇ）、または、塩化ビニル（ＰＶＣ）のいずれかであることを特徴とする請求項１０に記載のＩＣタグ。
【請求項１２】
前記第１のアンテナの動作周波数は１３．５６ＭＨｚであり、前記第２のアンテナの動作周波数は２．４５ＧＨｚであることを特徴とする請求項１または請求項２に記載のＩＣタグ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】ＩＣタグ